

教育を取り巻く社会の現状と課題

1. VUCA ブーカ（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代

- ・ 地球規模の気候変動、環境問題
- ・ 自然災害の激甚化・頻発化
- ・ 国際情勢、世界経済の不安定化
- ・ グローバル化の進展
- ・ デジタル技術の急速な発展

【課題】 → 予測困難な未来を生きる資質能力の必要性

- 課題解決能力、創造力、柔軟な思考力を育む教育
- ICT（情報通信技術）機器の効果的な活用、GIGA スクールの推進
- 安全で学びやすい学校環境の整備

2. 教育的ニーズの多様化・複雑化

- ・ 不登校の増加
- ・ 特別支援教育を必要とするこどもの増加
- ・ LGBTQ、ヤングケアラー、貧困等こどもの抱える困難の多様化・複雑化
- ・ いじめ、SNSトラブルなどの深刻化
- ・ 教育相談件数の増加
- ・ 共働き家庭やひとり親家庭の増加
- ・ 地域コミュニティのつながりや、地域での支え合いの希薄化

【課題】 → 様々な環境に置かれた子ども一人ひとりに合わせた教育の必要性

- 一人ひとりに最適な学びの機会の確保、きめ細やかな支援
- こどもの能力や可能性を最大限に伸ばす教育
- ウェルビーイング（※）の向上
- インクルーシブ教育、人権教育の推進
- 教員の専門性向上、支援員の確保
- 教育相談の充実
- 不登校対応スペース、こどもの居場所づくりの充実
- 福祉、保健、医療分野等との連携によるこどもへの支援
- 学校、家庭、地域、企業などが協力し、こどもたちの多様な教育活動を支援する体制の整備

3. 人口減少、少子高齢化

- ・ 学校やクラス規模の縮小
- ・ 地域や学校間で児童生徒数の偏在、教育環境の格差拡大
- ・ 各産業分野の担い手不足
- ・ 教員不足、高齢化
- ・ 学校等教育施設の老朽化

【課題】 → 人口減少下における学びの場や質の維持の必要性

- 学校規模の適正配置や地域との連携
- 小規模校の教育の質の維持、小中連携
- 学校等教育施設の適性な整備、維持管理
- 働き方改革の推進
- 教員の質の確保や育成
- 生涯学び、活躍できる環境の整備

※ ウェルビーイング :

身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。意味する概念。また、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

要素としては、「幸福感(現在と将来、自分と周りの他者)」、「学校や地域でのつながり」、「協働性」、「利他性」、「多様性への理解」、「サポートを受けられる環境」、「社会貢献意識」、「自己肯定感」、「自己実現(達成感、キャリア意識など)」、「心身の健康」、「安全・安心な環境」などが挙げられる。